



学校だより

学校の教育目標

- ・思いやりがあり、心の豊かな人になろう
- ・自ら学び、考え、表現できる人になろう
- ・心身ともに進んで鍛え、健康な人になろう

第8号

令和3年12月21日
杉並区立阿佐ヶ谷中学校

「充実した令和3年度2学期」

校長 工藤 康男

令和3年が、間もなく終わろうとしています。今年、1964年以来の東京オリンピック・パラリンピックが開催され、日本人だけでなく世界各国の人々の活躍によって、感動と勇気をもたらした人も多かったことでしょう。また、地球温暖化理論の第一人者である気象学者の真鍋淑郎氏がノーベル物理学賞を受賞するなど、明るいニュースも多くありました。一方、異常気象による洪水、土砂崩れ、竜巻などが、日本の各地で甚大な被害を及ぼし、残念ながら、尊い命を落とした方々もいました。大雨特別警報が発表され雨量が100年に一度と想定される量を超えた地域もあり、改めて、自然災害の怖さと災害に対する十分な備えを行うことの大切さを認識しました。

先述した気象学者の真鍋淑郎氏は、50年以上も前に「二酸化炭素が増えれば地球の気温が上昇し、地球温暖化につながる」ということを世界に先駆けて発表しました。地球の気候は、大気と海、そして陸地との間で熱や水蒸気がやり取りされ、次々と変化が起きる非常に複雑な現象ですが、複雑な関係を数式化し、世界で初めて大型コンピュータを使って予測したのです。1962年に発表した論文では、二酸化炭素濃度が2倍になると、地球の平均気温がおよそ2.3度上昇するとしています。12月に行われた授賞式では「気候変動は今や大きな問題だが、私は気候変動を心配した

からではなく、研究そのものを楽しんでいた。若い人たちには楽しめるものを見つけ、良い時間をすごしてほしい」と述べています。身近な自然界の事象に興味や関心を強くもつことが、とても大切なことだと感じます。

さて、本校でも2学期を振り返ると、多くのことがありました。集団行動が重要な校外学習や修学旅行では、一人一人が自覚をもって行動し、生徒たちが大きく成長しました。また、合唱祭には準備段階から学級の団結力で取り組みました。G組や各学年も優劣をつけることのできない素晴らしい合唱で、ホールを感動の渦に包み、最上級生である3年生の歌声は、来年につながる架け橋となりました。部活動では、吹奏楽部が東京都吹奏楽コンクールにおいて3年連続金賞受賞、陸上部や水泳部も各大会で入賞し、朝礼等で表彰することが多くありました。美術部のポスター制作、税についての作文の表彰、吹奏楽部による阿佐谷イルミネーション点灯式の演奏など、地域に貢献しました。さらに、杉並区中学校対抗駅伝2021、サイエンスグランプリ、杉並区中学校連合文化祭などでも、各自の能力を十分に発揮できる機会に恵まれ、積極的に参加しました。今後も自分自身が楽しみ、自分自身の成長につながる活動を継続することを願っています。